

大学院教育学研究科

所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授	
氏名	大島 崇 (Oshima Takashi)	
取得学位	修士（教育学），横浜国立大学，2008年3月	
SDGs目標		

研究分野	教育方法学，教師教育学
研究キーワード	教師の専門性，授業研究，教育実践研究，カリキュラム研究
研究内容	<p>●戦後初期の生活教育における教師の専門性</p> <p>戦後初期に生活教育を実践していた学校における教師の専門性とはいかなるものであったのかについて，特に授業研究とカリキュラム研究の連関に着目して研究している。（論文3）（著書1）</p> <p>●個々の子どもの興味・関心・思考・探究を重視する教育における教師の専門性</p> <p>生活教育や総合学習の理念を重視する教育，問題解決学習，オルタナティブ教育など，個々の子どもの興味・関心・思考・探究を重視する教育において求められる教師の専門性や力量形成について研究している。（論文1）</p> <p>●教師の省察を促す授業研究・教育実践研究</p> <p>現代の教育実践を対象に教師の省察を促す授業研究・教育実践研究について，特に実践の観察・記録，事実の即した解釈，実践についての協議のあり方に着目して研究している。（論文2）（著書2）</p>
研究業績・アピールポイント	<p>●論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 2021年，子どもの「おもしろさ」を感じ取れる教師であるために，日本生活教育連盟『生活教育』73巻6号，pp.14-19。 2016年，「当事者型授業研究」の実践と評価，日本教育心理学会紀要『教育心理学研究』64巻4号，pp.583-597。 2012年，戦後初期の授業研究における教師の力量形成とカリキュラム開発—吉城学園の「プラン会議」と「研究授業」に焦点をあてて—，日本教育方法学会紀要『教育方法学研究』第37号，pp.47-57。 <p>●著書</p> <ol style="list-style-type: none"> 2021年，これからの教師研究—20の事例にみる教師研究方法論—，東京書籍。 2017年，「授業研究」を創る—教師が学びあう学校を実現するために—，教育出版。 <p>●受賞</p> <ol style="list-style-type: none"> 2017年，日本教育心理学会優秀論文賞，日本教育心理学会。